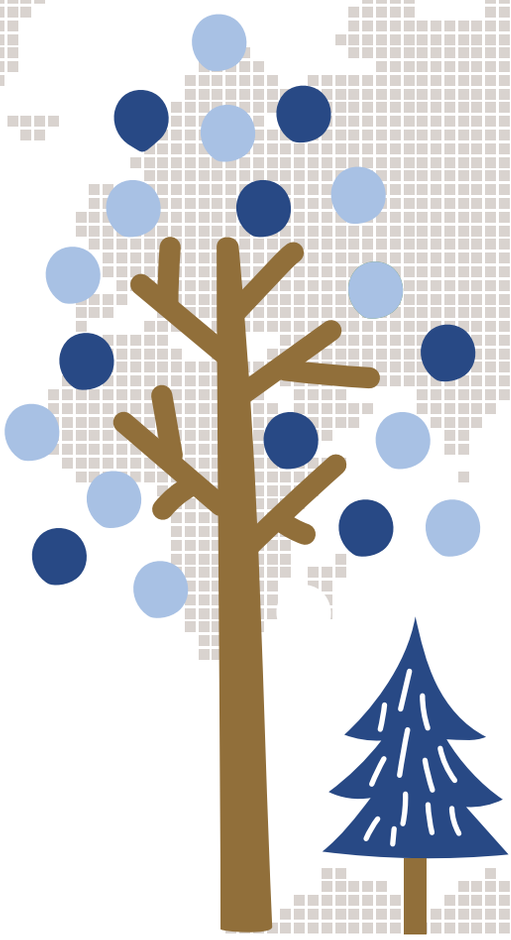
令和６年度

てしかが観光塾

北海道弟子屈から、観光の未来を拓く！



テーマ

観光×環境

気候変動時代の観光地域づくり

2024年 11/23(土) 24(日)

11月23日 8:45 開講 ▶ 11月24日 15:00 閉講

会場 川湯ふるさと館

受講料 ￥10,000 / 学生 ￥5,000
交流会 ￥2,000

- 1日のみ / 交流会のみの参加はできません。
- 弟子屈町民は受講料無料（事前のお申し込みが必要です）

てしかが観光塾 特設ページ
https://www.masyuko.or.jp/news/kankojuku2024/
特設ページ内の応募フォームよりお申込いただけます

応募締切：令和6年11月14日(木)

お申込み お問合せ
事務局：弟子屈町役場 観光商工課内
てしかがえこまち推進協議会
015-482-2940 平日 9:00-17:00
〒088 3292
北海道川上郡弟子屈町中央２丁目 3-1 弟子屈町役場
FAX 015-482-5669 ecomachi@masyuko.or.jp

11月23日 土

8:30-8:45 受付
8:45-9:00 開講式

講座 01
9:00-9:40
てしかがえこまち推進協議会の紹介
主催団体であるてしかがえこまち推進協議会のこれまでの取り組みや、各部会の活動について

講座 02
9:50-11:20
観光地の国際認証と環境政策
講師 木名瀬 佐奈枝 サステナビリティ・コーディネーター
持続可能な観光に関する国際基準において、観光地に求められる環境政策とは何か

講座 03
11:30-12:00
弟子屈町の環境政策について
講師 塚越 清夏 弟子屈町役場 環境生活課
弟子屈町の脱炭素、地球温暖化対策、環境基本計画など各種取り組みの現状について

講座 04
13:30-15:00
島国ツバルにならう～見せる適応策～
講師 遠藤 秀一 氏 ツバルオーバービュー
気候変動で沈みゆくツバル国にならう、観光資源にもなる適応策の提案

講座 05
15:10-16:40
観光と環境
講師 藻谷 浩介 氏 （株）日本総合研究所 主席研究員
世界の事例から考える観光と環境、今私たちにできることとは

16:40-17:10
記念撮影、ガイダンス

18:00-20:00 参加者交流会
地元産の食材を使ったお弁当を用意しております。参加者同士、また地元関係者との交流をお楽しみください。

要申し込み
参加費 ¥2,000

11月24日 日

講座 06
9:00-10:30
札幌の MICE における サステナビリティの取り組みについて
講師 荻 麻里子 氏 （公財）札幌国際プラザ
MICEカーボンオフセットプログラム等を事例として学ぶサステナビリティの考え方と地域プログラム

講座 07
10:40-12:10
気候変動時代の観光地域づくりとは
講師 山田 桂一郎 JTIC SWIISS代表
観光と環境から導く観光地域づくりの進めかたについての、まとめの講座

講座 08
13:10-14:30
グループディスカッション
自地域の環境政策と観光について考える
2日間で学んだことを自分の仕事や暮らしに活かし、それぞれの地域で実践するためにできることは何か、ディスカッションを通して考えます。

閉講
14:30-15:00
閉講式

1日目昼食は近隣の飲食店をご利用ください。
2日目昼食は、希望者のみお弁当手配ができます（実費）。
ご宿泊は川湯温泉が便利です。
本年はオンラインでの配信は予定しておりません。

てしかが観光塾は「観光を担う人材を育成する」ことを目的に、平成19年より毎年"ひがし北海道"の町・弟子屈町で開催しています。
今回も、主催であるてしかがえこまち推進協議会のメンバーがそれぞれ持ち寄ったアイデアを基にカリキュラムを組み立てました。町内の方にも、町外の方にも、日々の暮らしやまちづくりのヒントを見つけたり、大切なつながりを生み出すきっかけのひとつになりましたら幸いです。

副塾長
山田 桂一郎
Keiichiro Yamada

てしかが観光塾 副塾長
1965年三重県生まれ。JTIC SWISS代表、国土交通省認定観光カリスマ。弟子屈町ではまちづくりアドバイザーを務め、H20年のてしかがえこまち推進協議会立ち上げにも関わる。近著に、藻谷氏との共著による『観光立国の正体』ほか。

講師
遠藤秀一 氏
Shuichi Endo

1998年からツバル国を軸に活動をしている環境活動家。ニューズウイークジャパン「世界が尊敬する日本人100人」に選出されている写真家でもある。2010年にツバルにならった自給自足の暮らしを実践するため鹿児島に体験施設「山のツバル」を設立運営。NPO ツバルオーバービュー代表。ツバル国環境親善大使。

講師
荻 麻里子 氏
Marico Ogi

公益財団法人 札幌国際プラザ コンベンションビューロー部長。
1997年国連軍縮局アジア太平洋平和軍縮センターに9か月間派遣。3度の国連軍縮札幌会議の運営を担う。これまで数多くの国際会議やインセンティブツアー誘致に携わり、サステナブルなMICEの取り組みを推進している。

特別講師
藻谷浩介 氏
Kosuke Motani

（株）日本総合研究所調査部主席研究員／（株）日本投資銀行地域企画部特任顧問。
平成合併前の3,200市町村、海外119カ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。著書に『デフレの正体』『里山資本主義』『しなやかな日本列島のつくりかた』『世界まちかど地政学』など。

講師
木名瀬佐奈枝
Sanae Kinase

てしかがえこまち推進協議会食文化部会長／（一社）TESHI-COLOR代表理事／（一社）サステナビリティ・コーディネーター協会 業務執行理事。
慶應義塾大学中退後、19才で弟子屈町へ移住。観光を通じた地域づくりをテーマに、サステナビリティ・コーディネーターやデザイナーとして活動中。

■主 催／てしかがえこまち推進協議会 （構成団体：弟子屈町・弟子屈町教育委員会・弟子屈町商工会・摩周湖農業協同組合・（一社）摩周湖観光協会・（株）弟子屈町振興公社・てしかが郷土研究会・弟子屈町自治会連合会）